

無人化技術

日本安全保障貿易学会
(2015年9月12日)

拓殖大学
佐藤丙午

○無人化技術をめぐる国際社会の反応

- ・2015年7月のAI&Robotics 研究者らによる Open Letter
ホーキング博士が署名したことで国際的なメディアの関心を集める
- ・2015年4月のCCW（特定通常兵器使用禁止制限条約）非公式専門家会議
ドローンとLAWS（自律型致死兵器システム）と区別
人間と指令系統の「輪」の位相関係
- ・論点整理の進展
- ・兵器化には広範な反対論（将来の潜在的可能性に対する恐怖）

○自律化兵器をめぐる議論のポイント

- ・2014年と2015年のCCWにおける議論
2015年の会議における禁止（ban）反対論の表明
各国の安全保障政策の視点について（技術格差問題）
- ・安全保障政策と無人化技術
無人兵器を何の目的で使用するのか
マクロな視点とミクロな視点（「第三のオフセット戦略」と戦闘局面）
無差別大量殺戮の可能性（防止措置の技術的信頼性）
- ・規制の方法

○無人化技術の概要について

- ・無人化技術の兵器化
米国防総省指令 3000.09
Unmanned Systems Integrated Roadmap FY2013-2038
- ・DARPA の Robotic Challenge
- ・AI をめぐる問題（Stuart Russell の問題提起：30年を展望）
Perception : Deep Learning, Face recognition, Vision and 3D sensors,
Asynchronous video cameras
Navigation and mapping
Motor control
Tactical/strategic decisions : Tactical pursuit/targeting/attack, Coordinated
attack planning, Long-range hierarchical planning

○安全保障貿易管理の課題

- ・軍拡競争か、不拡散か
- ・レジーム
- ・軍備管理軍縮の教訓

以上